

競 技 注 意 事 項

1 受付について

- 各校引率教員は、競技会開始30分前までに受付をすませておくこと（教員の受付がないとき、選手は競技に出場できない）。また、受付は各日毎に行わなければならない。

2 競技規則および申し合せ事項について

- 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

3 招集について

- 招集場所は100mゴール延長上マラソンゲート付近に設ける。招集時間は、トラック競技は競技開始40分前から始め、20分前で完了とし、フィールド競技は競技開始50分前から始め、30分前で完了とする。ただし、棒高跳は競技開始90分前から始め、60分前で完了とする。（招集時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。）

4 リレー競技のオーダー用紙提出について

- 予選については、招集完了の30分前までに提出する。
- 決勝については、招集開始1時間前までに提出する。
- 提出時間に遅れたチームは、棄権とみなし出場を認めない。

5 ナンバーカード（ゼッケン）について

- トラック種目・投擲種目については胸背部に確実につけること。跳躍種目については、背または胸につけるだけでもよい。

6 腰ナンバーカードについて

- トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がよく確認できるように付けること。なお、腰ナンバーカードは主催者で用意する。競技終了後は、ただちに返却すること。

7 使用器具について

- 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」については各校から持参したものを使用する。また、投擲器具については大会本部にて検定を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

検定時間	8：30～8：45
検査場所	南側器具庫前

8 競技について

- 全天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は12mm以下のものを使用すること。トラック競技において、ゴール後は正面スタンド裏を通行し各ベンチに帰ること。その際、正面スタンド裏をスパイクで通行することは禁止する。
- スマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所・競技場所に持ち込むことはできない。
- 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校で対処すること。
- トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- 800mの9～12人目については、7、8、2、1レーンの順に入る。
- フィールド競技は、すべて計測する。
- 棒高跳については、天候不良の(予想される)場合、競技日時をに変更することもある。
- 走幅跳は2ピットで行う。なお、三段跳びの踏切板は男子10m、女子8mとする。高さの競技におけるバーの上げ方は以下のとおりとする。

<バーの上げ方>

- (男子) 走高跳 練習 (1m55 1m80)
1m60、1m65、1m70、1m75、
1m80、1m85、1m88・・・(以降3cmずつ)
棒高跳 練習 (2m60 3m00)
2m80、3m00、3m20、3m40、
3m60、3m70・・・(以降10cmずつ)
- (女子) 走高跳 練習 (1m25 1m45)
1m30、1m35、1m40、1m45、
1m50、1m55、1m58・・・(以降3cmずつ)
棒高跳 練習 (2m20)
1m80、2m00、2m20、2m30・・・(以降10cmずつ)

9 競技の番組編成について

- トラック競技の決勝進出者の発表は、アナウンスとともにピロティに掲示する。
- タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大し、より細かくタイムを判定して出場者を決定する。それでも決定できないときは、抽選とする。(競技規則167条) その他の同記録の場合も同様とする。

10 各種目の得点について

- 1位6点、2位5点・・・6位1点とする。

11 表彰および県大会への上場権について

- 男女総合は6位まで表彰する。
- 男女トラックの部、フィールドの部は3位まで表彰する。
- 各種目6位までの入賞者は賞状を授与する。
- 各種目6位までの入賞者は、大会開催中に各校引率教員を通じ、県大会出場の手続きを本部で行うこと。ただし、走高跳・棒高跳は6位6名とする。シード選手が入賞した場合、県大会不参加選手が出た場合は7位以下の選手が上場権を得る場合があるので、注意すること。

- 男女ハンマー投、男子5000mW、女子5000mWにおいて、下記の記録をクリアしていない選手は、県大会への出場権を得ることができない。なお、競歩については下記の時間で競技を打ち切る。また、男女ハンマー投において県大会への出場権獲得記録を突破していない入賞者は、競技終了後、3回の試技を行い、記録が突破できれば県大会への出場権を得ることができる。

男子	ハンマー投	33m以上
男子	5000mW	28分以内 (打切時間 30分)
女子	ハンマー投	23m以上
女子	5000mW	33分以内 (打切時間 35分)

12 出し

たゴミについては、各校が責任を持って持ち帰ること。また、競技終了後はボランティアにより清掃活動に入るので、ミーティング等は競技場の外で行うこと。

<清掃当番校>
 9月7日(土)(御津・豊川工)
 9月8日(日)(福江・宝陵)

13 競技場での練習について

- 大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技会開始時刻の20分前までとする。また、本大会に参加していない選手の競技場での練習は一切認められない。
- 雨天時以外の雨天走路での練習・ウォーミングアップは禁止する。
- 競技場周辺での練習については、一般の方に迷惑になるような行動は慎むこと。

14 応援について

- 応援は正面スタンドおよび土手面で行い、本部席や競技場内には入らないこと。
- メガホン等を使用した集団応援および正面スタンドでの集団応援は禁止する。
- 競技の進行に支障を来すような集団での応援は禁止する。
- 正面スタンド最前列での立っての応援は禁止する。
- 走幅跳・三段跳競技実施時は、コーチゾーンを設置する。同所属選手の試技時のみ使用してよい。
- 保護者席は、正面スタンド中央の青色イス席とする。
- カラーコーンなどで規制されたエリアには立ち入らないこと。

15 各校のベンチについて

- 正面スタンドにおけるベンチについては、指定された場所に設置すること。また、荷物については競技終了後ならず持ち帰ること。

16 写真・ビデオ撮影について

- 生徒たちのため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。

<観客席からの撮影制限>

- 観客席での撮影を禁止させていただくエリアは下記の席です。
 - ◆各種目のスタート後方
 - ◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - ◆走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)
- 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなどの準備の行動は撮影を禁止します。
- 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。